

船橋市立法典西小学校 山本 稔

1. はじめに

21世紀の幕開けの年は実に多くのニュースが飛びかった1年であった。頻繁に国名や地名が伝えられた。「これくらいなら知っているだろう」と思うのは、大人の思い込みであって、子どもは、意外と地名と場所を結びつけて知ってはいない。ニュースで地名が流れたら、まずは地図帳を開くという習慣を身につけさせたい。そこで以下のような活用法を紹介する。

2. 県名、国名、地名をすぐに見つける練習を

以下のことを合い言葉に地名を見つける練習をしておくとうい。

- ・ 県名は「都道府県の区分」(p.3~4)、国名は「世界の国々と国旗」(p.68~70)で
- ・ なるべく「くわしい地図」(拡大図)で
- ・ いざとなったら「おもな地名のさくいん」を

3. こんなニュースで

① えひめ丸衝突沈没事件

昨年の2月、宇和島水産高校の実習船がアメリカ海軍の原潜と衝突し多くの犠牲者を出した事件が連日報道された。「ハワイオアフ島沖」や「ハワイホノルル沖」という説明がなされた。翌朝、まずニュースの概要を説明し、「ハワイってどこ?」と聞く。すぐに「世界の国々」のページで探し始める。見つけた子どもから声があがる。「海のと真中だ。」「ハワイってアメリカだったの!」

太平洋の中央部に位置するからこそ、アメリカの海軍が駐留して睨みをきかせている。そしてこの事故が起こったことを説明した。親しみのある外国地名が要注意である。よく確認して位置を確認させたい。

② 大阪教育大附属池田小事件

昨年6月に起きたこの事件は日本を震撼させた。教育現場で起きた事件ということもあり、子どもたちの反応も強いものであった。関東に暮らしていると関西地方の地名はすぐに把握できないものがある。すぐに見つけることとした。

「大阪府池田市」を手がかりに、「近畿地方のくわしい地図」では、どうにか発見できる。さらに、「大阪市とそのまわり」で詳しくわかる。「兵庫県との境だ」「人口は◎だから、30万未満だ」などの声があがる。この痛ましい事件も、遠い世界で起こったのではなく、「日本のこの場所で」という意識をもたせたいと思う。

③ アメリカ同時多発テロ事件、アフガニスタン空爆へ

2001年9月11日は歴史に刻まれる日時となった。このときほどアメリカの地名が連日報道された事件はない。

「ニューヨーク」、「ワシントン」、「ピッツバーグ」、「ボストン」…。これらの地名を地図帳で見つけさせた。「北アメリカ州・南アメリカ州」で見つける。「えー、こんなに近くで何機も飛行機が墜ちたんだ。」という声があがる。まさに戦争さながらの状況が少し理解できたようである。



同時多発テロ事件は、アフガニスタンへと展開した。この顛末と事件の背景を説明して、場所はアフガニスタンを調べさせる。「日本の近隣諸国とアジア」で調べる。首都のカブール、砂漠、山に囲まれた地形、などが確認できる。「だんだん日本に近づいている」という発言があった。これは、

何よりも身に迫った事件として理解しているあらわれであり、地図を使ったからこそ出てくる発言である。

4. おわりに—地図は情報の宝庫—

地図はさまざまな情報を我々に与えてくれる。ニュースで流れる国名や地名を、まずは地図帳で確認するという習慣は、生涯にわたって生きる技能であると思う。